Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平 成 25 2 28 年 国土交通省九州地方整備局 道

記者発表資料

新たな「事故危険区間」を選定しました ~ 事故危険区間の主な代表箇所を公表 ~

九州地方整備局佐賀国道事務所では、限られた予算の中で交通事故 対策への投資効率を最大限高めるため、「事故ゼロプラン(事故危険区 間重点解消作戦)」を平成22年12月に策定し、交通事故対策を進めて います。

今回、「通学路緊急合同点検の反映」「高齢者事故への対応」「最新事 故データ、地域要望の反映等」の3つの視点を踏まえて事故危険区間リ ストを更新し、「佐賀県道路交通環境推進連絡会議」において議論してま いりましたが、このたび「事故危険区間」が承認されましたのでお知らせし ます。

佐賀国道事務所管内において

新たな事故危険区間として、338区間を選定しました。

佐賀県事故ゼロプランの取り組み

別紙-1

・ 佐賀国道事務所管内における事故危険区間(主な代表 別紙-2 箇所)の位置図

●通学路の安全確保など新たな視点により、89区間を事故危険区間リストに追加

○3つの視点を選定フローに取り込み、事故危険区間リストを更新しました ○経過観察※79区間を含む、338区間を事故危険区間に選定しました

視点1:通学路の緊急合同点検の反映 【歩道整備】 視点2: 高齢者への事故対策の充実 【交通事故対策】

視点3:最新事故データ、地域要望等の反映 【交通事故対策・ 歩道整備】



【問い合わせ先】



国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

TEL 0952-32-1151(代表)

かわきた かずあき 川北 一明 (内線205) 技術副所長

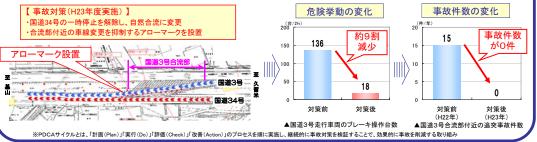
くわはら かずお 桒原 和男 (内線471) 交通対策課長

- 〇 佐賀県内の直轄国道においては、交通事故が多発する区間に対して集中的・重点的に交通事故対策を進める「事故ゼロプラン」を展開しています。
- 「通学路の緊急合同点検の反映」「高齢者事故への対応」「最新事故データ、地域要望等の反映」の3つの視点を踏まえて事故危険区間リストを更新しました。
- 〇 マネジメントサイクル (PDCA) の推進や地域参加・地域との協働により、効率的・効果的な交通事故対策を推進します。

道路利用者調査の実施 ●高齢ドライバーやプロドライバーを含めた道路利用者の潜在的な危険箇所を調査 ○事故危険区間対象路線(直轄国道) に ○高齢ドライバーのヒヤリハット体験箇所を16箇所把握 おいて、557箇所のヒヤリハット体験※ ○高齢者の行動特性(反応時間の遅れ)から、飛び出しが多い箇所 や視認性の悪い箇所など、出合頭に衝突しやすい箇所を指摘 箇所を把握 【指摘笛所数】 アンケート調査 聞き取り調査 ●直轄国道 : 16箇所 ●その他道路:66箇所 ヒヤリハット 高齢ドライバーの事故が発生しやすい箇所 体験がある ヒヤリハット (高齢者講習指導者への聞き取り調査) 体験がある 回答者総数 回答者総数 51% 特にない N=1,345 N=161 ⇒ - 時傷止線を越えて傷事しわすい 「均均等所数】 ② 沿道に店舗が立ち並ぶ単路 直轄国道 : 557箇所 ⇒ 出入り車両に対する反応が遅れやすい ●その他道路:523箇所 ③ 交差点の右折 ⇒ 距離間や速度の認識と右折りくミング (体の ▲佐賀県内の道路におけるヒヤリハット体験の有無 ▲佐賀県内の道路におけるヒヤリハット体験の有無 反応)がズレやすい

PDCAサイクル※の取り組みを推進

- ●県内の代表的な事故多発地点が交通事故防止対策により交通事故が大幅に減少 【国道3号 永吉交差点】
- ○国道3号と国道34号の合流部付近について、一時停止から自然合流に変更し、対策効果を検証
- ○事故対策後、国道3号合流部付近のブレーキ回数は大幅に減少し、追突事故の発生がなくなりました
- ○新たな課題として、合流部付近の平均速度向上に伴う新たな事故を誘発していないか確認します



事故危険区間リストの更新

●通学路の安全確保など新たな視点により、89区間を事故危険区間リストに追加

○3つの視点を選定フローに取り込み、事故危険区間リストを更新しました ○経過観察※79区間を含む、338区間を事故危険区間に選定しました

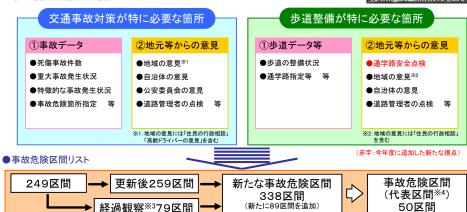
視点1:通学路の緊急合同点検の反映 【歩道整備】 視点2: 高齢者への事故対策の充実 【交通事故対策】

※ヒヤリハット体験とは、事故には至らなかったが、事故にまきこまれそうな危ない思いをした体験のこと

視点3:最新事故データ、地域要望等の反映 【交通事故対策 ・ 歩道整備】

事故危険区間抽出の視点





※3:経過観察区間とは、平成22年度の事故危険区間の内、対策が完了した区間、または事故危険区間リ ストに選定されているが、最新データ等を用いた場合、抽出基準に該当しなくなった区間

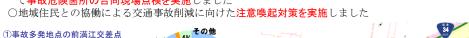
地域参加・地域との協働を推進

●事故多発地点の交通事故防止対策に向けて、地域住民の方々と合同現場点検を実施

【国道34号 前満江交差点】

(平成19-22年中・交差点)

○県内の代表的な事故多発地点である前満江交差点で、地域住民の方々と一緒に危険な運転挙動を確認し て事故危険箇所の合同現場点検を実施しました





②高齢ドライバーを交えた合同現場点検を実施





点検結果を踏まえ、国道207号に国道34 号との合流予告する注意喚起看板を設置

③地域住民との協働による対策の実施



※ 作成日:平成25年2月18日

佐賀国道事務所管内における事故危険区間(主な代表区間)の位置図 別紙-2

